

登録コード	SSG03605	開講年度	2026			
授業題目	特別研究（化学ユニット）				担当教員	太田 哲
英文授業名	Special Research（Chemistry Unit）				副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期	
講義室					備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学、2 4 SSカリ・理学					
	【DP1】人類、社会の平和的・持続的発展のために、研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観				化学に関する研究活動を通じて、専門知識・技術だけでなく、研究者・技術者としての高い倫理観を持てるようになる。	
	2 4 SSカリ・理学					
	～24SS【DP2】環境調和社会、知識基盤社会を支える高い知的素養				修得した化学の専門知識・技術が現代社会を支える様々な分野で活用可能であることを理解できるようになる。	
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				化学に関する国内外の最新の研究について調査、理解できるようになるとともに、自らの研究成果を学会等で発表できるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学、2 4 SSカリ・理学					
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力				化学に関する研究活動を通じて、高度な専門知識と研究能力を持てるようになる。	
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち、その妥当性を理論的に説明し、議論する能力				研究活動を通じて修得した高度な知識をもとに、自らの研究成果を的確に説明し、議論できるようになる。	
	2 6 SSカリ・理学、2 5 SSカリ・理学					
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会、知識基盤社会を支える高い知的素養				修得した化学の専門知識・技術が現代社会を支える様々な分野で活用可能であることを理解できるようになる。	
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				化学に関する国内外の最新の研究について調査、理解できるようになるとともに、自らの研究成果を学会等で発表できるようになる。	
(2)授業の概要	指導教員の指導のもとで、研究課題の設定から研究の実施、成果発表までの諸過程を、修士課程全期間（2年間）をかけて実施する。					
(3)授業のキーワード	有機化学を中心とする化学研究を遂行するための各種能力：情報収集、研究計画立案、実験、データ解析、考察、情報発信、討論					
(4)授業計画	以下に研究の実施過程の標準的な例を示す。各項目に要する時間や順序は研究内容および進捗状況によって若干異なる。 第1回：研究課題の設定（1）文献調査 第2回：研究課題の設定（2）研究計画 第3回：研究の実施（1）実験 第4回：研究の実施（2）データ解析、考察 第5回：中間報告 第6回：研究進捗状況の確認と検証 第7回：研究成果の取りまとめ 第8回：成果発表（1）学会発表、討論 第9回：成果発表（2）修士学位論文の作成 第10回：成果発表（3）修士学位論文の口頭発表、質疑応答					
(5)成績評価の方法	研究課題への取り組み、研究課題の達成状況、および成果発表を総合して評価する。					
(6)成績評価の基準	1）研究課題への理解度 2）課題に取り組む姿勢 3）研究課題の達成状況 4）研究結果に関する議論 5）成果発表における状況 上記の5項目について評価し、以下の通り判定する。 秀（卓越している）：すべての項目を満たし、さらに教員を感心させるレベルにある 優（かなり上にある）：すべての項目を満たしている 良（やや上にある）：4項目を満たしている 可（水準にある）：3項目を満たしている 不可：2項目以下しか満たしていない					
(7)事前事後学習の内容	特別研究は2年間を通じて実施されるものであり、日々得られる研究結果に対する注意深い考察を基に、常に短期および中長期の研究計画を立てつつ遂行することが重要である。					
(8)履修上の注意	専門分野に関する先進的かつ最新の知識を自ら幅広く修得することが必要である。					
(9)質問、相談への対応	随時対応する。					
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					